



おはるお
春雄
内藤

はるお
春雄
内藤
はるお
春雄
内藤
はるお
春雄
内藤

質問
QUESTION

今後の、米づくりの 方向性は？

回答
ANSWER

集約化が必要と考え ます

〔産業振興課長〕

十分理解したうえで、集約化が必要と考えます。

質問 岐阜県農地中間管理事業への取り組みは？

回答 中間管理事業は、国の打ち出した新しい農地の貸し借りの仕組みです。

農地中間管理機構が、兼業農家やリタイアした農家から農地を借り受け、営農組織や新規就農希望者に貸し付けを行うものです。

当町は、貸付希望農地の受け手・出し手のマッチングなど、機構及び関係機関と協力して事業の推進を図ります。

質問 農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るための取り組みは？

回答 当町は営農組織が母

体となり、地域住民・自治会・老人クラブ・PTAを含めた活動組織として、地域活動計画を策定した3団体と協定締結をしています。

さらに全地域でも営農組織等が立ち上がることを促進し、この制度を活用した事業推進を図ります。

質問 国において、新たな農業農村政策が示されています。農地中間管理・経営所得安定対策の見直し・水田フル活用と米政策の見直し（減反政策の廃止）

回答 現在組織化されている安八町農業再生協議会を核に「新しい米づくりの再構築システム」を促進いたします。

質問 都市化へと向かう「都市計画マスタープラン」と、優良農地の保全を図る「農業振興地域整備計画」との整合性は？

回答 都市型農業として生産性の高い農業を目指します。

質問 集約型都市構造の実現に向け、農業環境等との調和に十分配慮します。

市街地の形成と、農地保全という相反する土地利用計画に対し、都市型農業として生産性の高い農業を目指します。



営農組合の購入した大型機械（上村集落営農組合）